

発掘された日本列島 2019 新発見考古速報
地域展 尾張の城と城下町 三英傑の城づくり・町づくり

イベント
のお知らせ

発掘された日本列島 2019 新発見考古速報 記念講演会

11.16 土 14:00~ (開場は 13:30~)

「発掘された日本列島 2019」展の見どころについて

講師：齊藤慶吏(文化庁 文化財調査官)
会場：名古屋市博物館講堂(定員 220 名)

狩猟土器 川原平(6)遺跡
青森県埋蔵文化財調査センター

*聴講無料。
*当日9時30分より整理券を展覧会場入口で先着順に配布します(1名につき1枚のみ)。

地域展 尾張の城と城下町 三英傑の城づくり・町づくり 連続講座

- ① 11.24 日 「織田信長の城づくり・町づくり 小牧山城とその城下町」
- ② 12.14 土 「豊臣秀吉の城づくり・町づくり 清須城とその城下町」
- ③ 12.15 日 「徳川家康の城づくり 名古屋城とその武家屋敷」
- ④ 12.21 土 「徳川家康の町づくり 名古屋城下町」

各回 13:30~14:30 (開場は 13:00~)

講師：①~③ 鈴木正貴(愛知県埋蔵文化財センター 主任専門員)
④ 岡村弘子(名古屋市博物館 学芸員)

会場：名古屋市博物館展示説明室(各回当日先着 100 名)

*聴講無料。各回のみ参加もできます。



名古屋城天守西北隅石垣

考古学セミナー あいちの考古学 2019 最新の考古学情報発表会

12.7 土・12.8 日

主催：名古屋市博物館、愛知県埋蔵文化財センター
会場：名古屋市博物館講堂と展示説明室 入場無料・予約不要
詳細はあいち埋文公式サイト <http://www.maibun.com/top/> をご確認ください。

12.7 土 13:00~16:30 ◎プレゼンテーション&ポスターセッション

東海地域の最新の考古学調査成果や研究成果を、市町村の担当者や研究者が発表・解説します。

12.8 日 10:00~16:00 ◎ポスターセッション

10:00~11:20 ◎プレゼンテーション

12:30~15:30 ◎シンポジウム

城下町を彩った 金・銀・銅

戦国時代から近世初めの頃の城下町に見られる金・銀・銅などでつくられた製品や加工技術について最新の研究成果をご紹介します。

「城下町を彩った金・銀・銅」

講師：杵名貴彦氏(国立科学博物館)

事例報告：清洲城下町遺跡・鷲山仙道遺跡・多気北畠氏遺跡など

パネルディスカッション

会場：名古屋市博物館講堂(定員 220 名)

講演会・講座・考古学セミナーなどで手話通訳・要約筆記などによるサポートをご希望の方は、当日の2週間前までに名古屋市博物館までご相談ください。



銅製品生産関連遺物 清洲城下町遺跡 愛知県埋蔵文化財調査センター



展覧会
情報

発掘された日本列島 2019 新発見考古速報
地域展 尾張の城と城下町 三英傑の城づくり・町づくり

会 期 ■ 2019 年 11 月 16 日(土)~12 月 28 日(土)

開館時間 ■ 9:30~17:00 入場は 16:30 まで

休 館 日 ■ 毎週月曜日・第 4 火曜日(会期中の休館日：11/18・25・26、12/2・9・16・23・24)

観 覧 料 ■ 一般 1,000(800)円 高大生 600(400)円 中学生以下無料

*カッコ内は前売・20名以上の団体料金。 *前売券は11月15日まで、名古屋市博物館・中日新聞販売店・主要プレイガイド・チケットぴあ(Pコード=769-909)・ローソンチケット(Lコード=43441)・セブンチケット・イープラスなどで販売。 *名古屋市交通局のドニチエコきっぷ、一日乗車券を利用して来館された方は当日料金より100円割引。 *障害のある方は手帳、難病患者の方は受給者証の提示により本人と介護者2人まで当日料金の半額。 *各種割引を重複してご利用いただくことはできません。

名古屋市博物館

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1
Tel: 052-853-2655 Fax: 052-853-3636
<http://www.museum.city.nagoya.jp/>

おでかけは公共交通機関で

名古屋駅から地下鉄桜通線で「桜山」駅まで17分。
「桜山」駅下車、4番出口から徒歩5分。
エレベーターをご利用の方は、3番出口から南へ400m。

Exhibition of Excavations in the Japanese Archipelago 2019

発掘された
日本列島
2019

新発見
考古速報

特集1 福島の復旧・復興と埋蔵文化財
特集2 記念物100年

2019 11.16 土 ~ 12.28 土

Nagoya City Museum

名古屋市博物館

地下鉄桜通線「桜山」駅



槍先形尖頭器 鬼川辺(1)遺跡 青森県埋蔵文化財調査センター

Castles and Castle Towns in Owari District

尾張の
城と
城下町

地域展

三英傑の城づくり・町づくり

新しい時代のはじまり 織田信長の城づくり・町づくり—小牧山城
東日本最大級の都市 豊臣秀吉の城づくり・町づくり—清須城
究極の城と城下町 徳川家康の城づくり・町づくり—名古屋城



灰釉水滴 小牧山城
小牧市教育委員会



金箔桐文鬼瓦 清洲城下町遺跡 清須市教育委員会



志野茶碗 清洲城下町遺跡 愛知県埋蔵文化財調査センター

主催 文化庁、名古屋市博物館、中日新聞社、全国新聞社事業協議会、名古屋市教育委員会、愛知県教育委員会、(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団
協力 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、(公財)元興寺文化財研究所、共同通信社
後援 全国史跡整備市町村協議会

発掘された日本列島2019

新発見
考古速報

日本列島では毎年8,000件以上の埋蔵文化財の発掘調査がおこなわれています。この展示は、近年の発掘調査の中で、全国的にも注目された遺跡や、近年成果がまとまった全国の12遺跡を時代ごとに紹介するものです。



旧石器時代

1 墨古沢遺跡 旧石器時代 約34,000年前
千葉県酒々井町



台形様石器 墨古沢遺跡 酒々井町教育委員会

縄文時代

2 白神山地東麓縄文遺跡群 縄文時代草創期～晩期 約15,000～2,300年前
青森県西目屋村

3 エリ穴遺跡 縄文時代後期～晩期 約4,000～2,400年前
長野県松本市

弥生時代

4 郡遺跡・倍賀遺跡 弥生時代中期初頭～後期前半 約2,200～1,900年前
大阪府茨木市

5 山ノ口遺跡 弥生時代中期後半 約2,100年前
鹿児島県錦江町



家形埴輪 金蔵山古墳 岡山市埋蔵文化財センター

古墳時代

6 金蔵山古墳 古墳時代前期末～中期初頭 4世紀後葉
岡山県岡山市

7 行基平山頂古墳 古墳時代後期 6世紀初頭
栃木県足利市

古代

8 青谷横木遺跡 飛鳥時代～平安時代 7世紀後半～11世紀
鳥取県鳥取市

9 ケカチ遺跡 奈良時代～平安時代 8世紀～10世紀
山梨県甲府市

中世

10 岩櫃城跡 戦国時代～江戸時代初頭 15世紀～17世紀初頭
群馬県東吾妻町



下駄・うわ 東宮遺跡 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

近世

11 東宮遺跡 江戸時代 1783年8月5日
群馬県長野原町

近代

12 富山城下町遺跡 昭和時代 20世紀
富山県富山市



特集1

福島県の復旧・復興と埋蔵文化財

東 日本大震災の発生から8年。いまだ復旧・復興の道半ばである福島県沿岸部、浜通り地域は、海と陸の道によって各地と結ばれ、極めて個性的な文化をはぐくんできた魅力ある地域です。この地域に根付いた歴史文化を、遺跡・遺物の展示を通じて紹介します。

- 13 史跡真野古墳群周辺遺跡 福島県南相馬市
天神沢遺跡・史跡真野古墳群・八幡林遺跡・大六天遺跡
- 14 七所社遺跡・大堀長井屋窯跡 福島県浪江町
- 15 郡山五番遺跡・陳場沢窯跡群 福島県双葉町
- 16 南沢・梨木平遺跡 福島県大熊町
- 17 小浜台遺跡・滝川製鉄遺跡 福島県富岡町
- 18 代遺跡・合張遺跡 福島県楢葉町
- 19 柳町Ⅱ遺跡 福島県広野町



人面装飾付き注口土器 七社宮遺跡 浪江町教育委員会

特集2

記念物100年

「記念物」とは、我が国にとって歴史上価値の高い遺跡、鑑賞上価値の高い名勝地、学術上価値の高い動物・植物・地質鉱物の総称です。本年は「記念物」(史跡・名勝・天然記念物)保護の取り組みが始まってから100年を迎えます。これに合わせ、「記念物」保護の歩みと未来へ伝える重要性を紹介します。

特別天然記念物 コウノトリ



愛知県埋蔵文化財センター秋の埋蔵文化財展

尾張の城と城下町

三英傑の城づくり・町づくり

遺跡の発掘調査は、その土地の開発の歴史を明らかにしてくれます。信長・秀吉・家康という「三英傑」ゆかりの城と城下町の発掘調査成果などから、戦国時代から江戸時代への変革をダイナミックにとどめます。

地域展



後期清須城東面石垣とその土台木 愛知県埋蔵文化財センター提供

織田信長の城づくり・町づくり - 小牧山城とその城下町



銅碗 小牧山城 小牧市教育委員会



小牧山城山頂部の石垣 小牧市教育委員会提供

永 永禄6(1563)年、尾張統一を成し遂げた織田信長は居城を清須から小牧山に移しました。山頂部全体を初めて石垣で囲んで権威の象徴とし、城下町には初めて居住区画を設定しました。近世城郭と近世城下町の出発点となる極めて重要な場所となっています。

豊臣秀吉の城づくり・町づくり - 清須城とその城下町



後期清須城下町の町屋遺構 愛知県埋蔵文化財センター提供



素焼水滴 清洲城下町遺跡 愛知県埋蔵文化財調査センター

天 正14(1586)年、織田信雄が清須城を大きく変え、その後豊臣秀吉の有力大名らが居城しました。古い守護館を廃して石垣と瓦葺き建物を築き、天守もそびえたちました。拡大した城下町全体を堀と土塁で囲み、「関東の巨鎮」といわれるほど発展した経済の要所だったのです。

徳川家康の城づくり・町づくり - 名古屋城とその城下町



名古屋城所用葵文銅板瓦 名古屋城総合事務所



名古屋城本丸御手北石垣とその土台木 名古屋城総合事務所提供

慶 長15(1610)年、徳川家康の命を受け徳川義直は居城を清須から名古屋に移しました。城は壮大な高石垣と堀で囲み、天守・御殿・武家屋敷などが配置され、広大な城下町は正方形に整然と区画されました。ここに近世城郭と近世城下町の到達点ともいえる都市がうまれたのです。

新しい時代のはじまり

東日本最大級の都市

究極の城と城下町